



ETK0745146C

住友電気工業株式会社

e-BOX multi 工法書

ご使用の前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用下さい。
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

▽ 安全上のご注意 ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

本光接続箱に関する安全上のご注意	
⚠ 危険 右記内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。	—
⚠ 警告 右記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	・ 接続箱は、落下などの無いように、確実に固定して下さい。 ・ 高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご注意ください。
⚠ 注意 右記内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。	・ 刃物などのご使用時には十分に注意してください。 ・ 本接続箱の組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。 ・ 締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。接続箱の機能低下及び破損の原因となります。
お願い 右記の内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。	・ 融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。 ・ メカニカルスプライス及び現地組立型SCコネクタは、それぞれの取り扱い説明書をご覧ください。

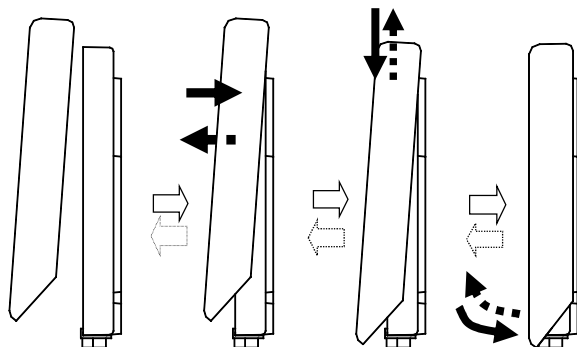
▽ 主な構成品一覧

番号	構成部品名	数量	用途・備考
1	ケース本体	1	配線トレイ収納、外被固定
2	ケース蓋	1	心線、接続部の保護
3	配線トレイ	1	心線、接続部収納
4	SCアダプタ	P1(ご指定数)	SCコネクタの接続
5	パッキング	1	ケーブル導入部の防塵、防水
6	コード固定金具	1	単心コード導出用、添付品
7	いたずら防止金具	1	誤開閉防止用、添付品
8	締め付けバンド	3	ケーブルやコードの固定用、添付品
9	工法書	1	—

※粘着テープ類 及び 融着保護スリーブはオプション品ですので、別途ご用意下さい。

▽ カバーの開閉方法

カバーの下側を手前に引出し、カバーを上側にずらしてカバーを取り外す(図中破線矢印の動作)。また、カバーを取り付ける場合には、カバーを斜めにし、カバー上部を筐体の上側に被せてカバー下側をはめ込む(図中実線矢印の動作)。



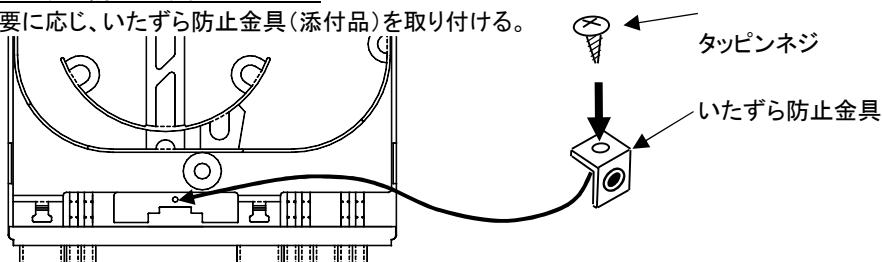
▽ 組立方法

1. カバーの取り外し

カバーの開閉方法に従い、カバーを取り外す。

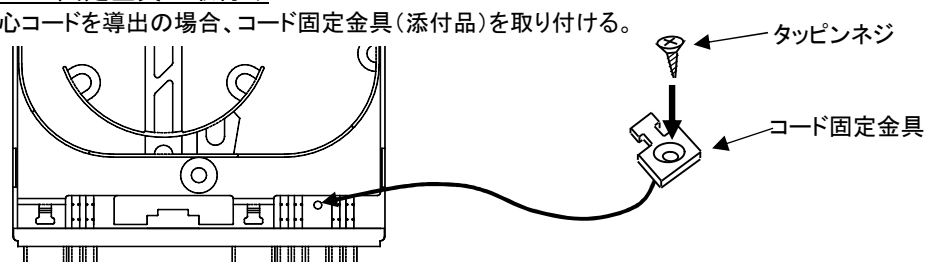
2. いたずら防止金具の取り付け

必要に応じ、いたずら防止金具(添付品)を取り付ける。



3. コード固定金具の取付け

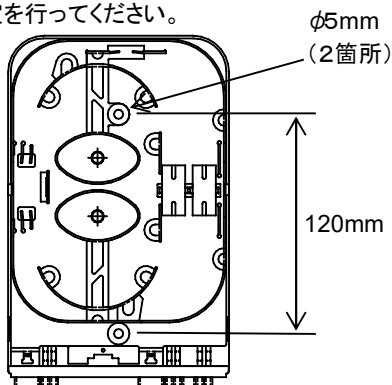
単心コードを導出の場合、コード固定金具(添付品)を取り付ける。



4. ケース本体の固定

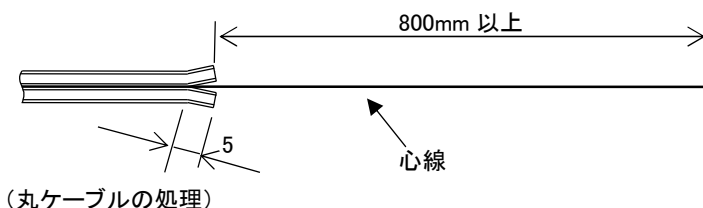
ネジは壁面の材質に合わせ適切な種類(M4 ナベ頭ネジ、φ (ドロップケーブル・インドアケーブルの処理))

4.1 丸木ネジ、φナベ頭タッピンネジ等)を選択し、下図の寸法にて壁面に施工を行い、ケース本体を固定する。また、屋外壁面に設置する場合は添付のシール座金を使用して、ネジ固定を行ってください。

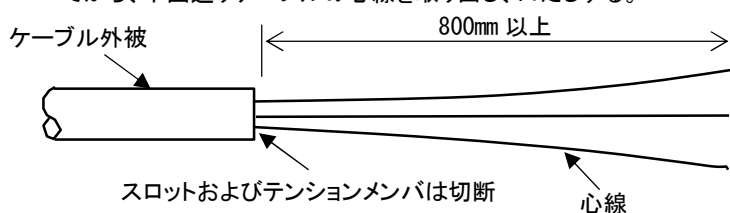


5. ケーブル処理

接続箱設置位置へケーブルを仮配線し、ケーブル固定位置を確認してから、下図の通り、ケーブル中央の心線を取り出し、口だしする。



接続箱設置位置へケーブルを仮配線し、ケーブル固定位置を確認してから、下図通りケーブルの心線を取り出し、口だしする。



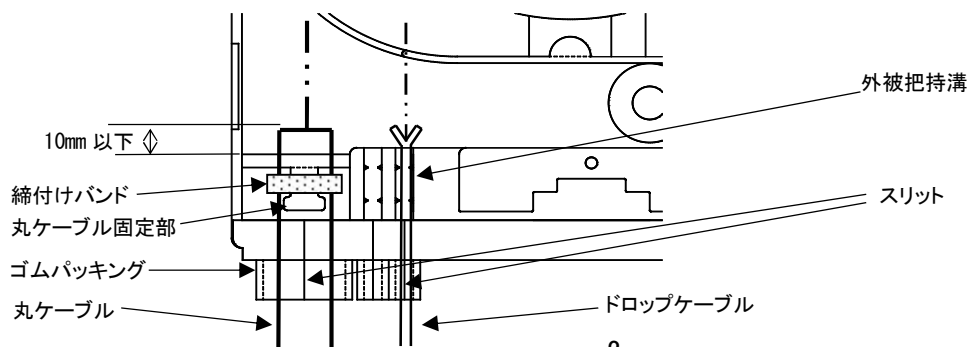
6. ケーブルの固定

(ドロップケーブル・インドアケーブルの取り付け)

ゴムパッキングのスリットからケーブルをはめ込みながら、ケーブルを外被把持溝に上から押し込み、溝側面の刃を食い込ませ外被を固定する。

(丸ケーブルの取り付け)

- ① ゴムパッキングのスリットからケーブルをはめ込む。
- ② 丸ケーブル固定部に締付けバンド(ケーブルタイ)でケース本体とケーブルをほう縛する。
ほう縛後、結束バンドの余長は適宜切断し除去する。



7. 成端処理

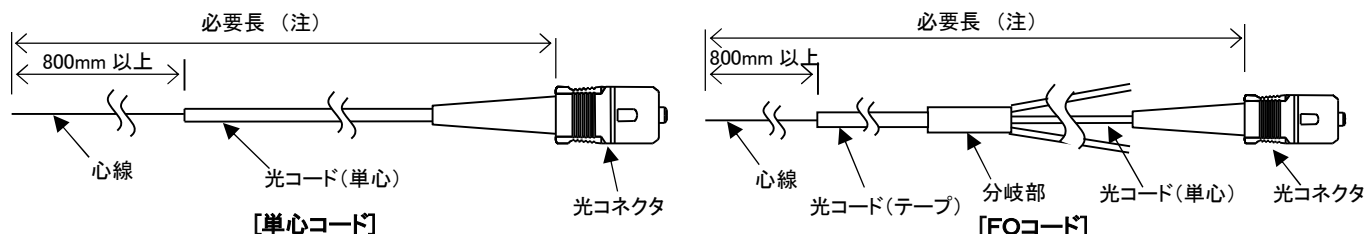
(単心コード又はFOコードを接続の場合)

①接続箱へ仮配線し、光コネクタ接続位置を確認してから、下図の通り、光コード長を決定する。

②接続に必要な心線を口出しする。

③コネクタをアダプタに固定し、末項のパターン図を参考にコード部の余長を収納する

注) 心線の口出し長は光コードを接続箱へ配線する際、心線の口出し位置が心線の屈曲しない位置(心線の曲率曲げ半径を確保できる位置)に来るように長さを調整して下さい。



(現地組立型単心SCコネクタを取り付けの場合)

接続箱へ仮配線し、光コネクタ接続位置を確認してから、現地組立型単心SCコネクタの説明書に従い、

光コネクタを取り付ける。

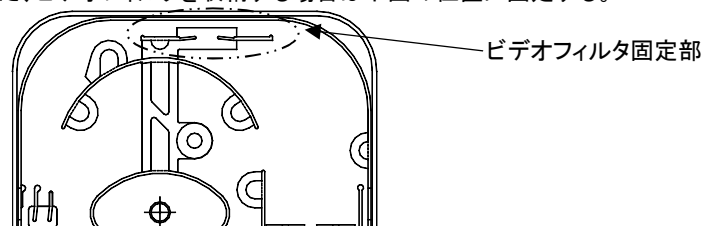
8. 心線接続

本品は融着接続とメカニカルスプライスに対応していますので、ご採用の心線接続方法の心線接続機の取り扱い説明書に従い、心線接続する。

9. 心線余長収納

末項の配線パターンを参考にして、心線の許容曲げ半径以上確保するように余長を収納する。

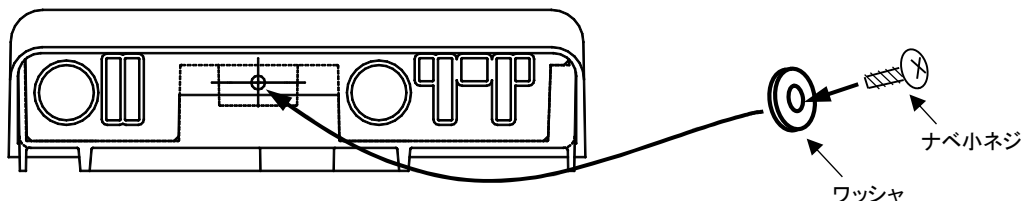
また、ビデオフィルタを収納する場合は下図の位置に固定する。



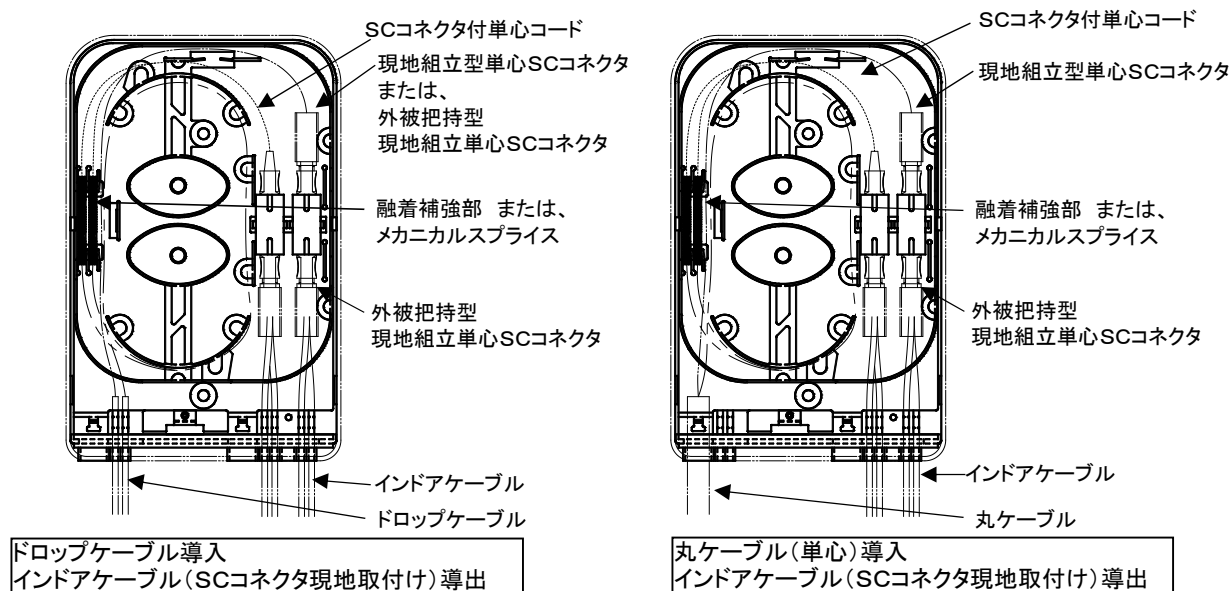
10. カバーの取り付け

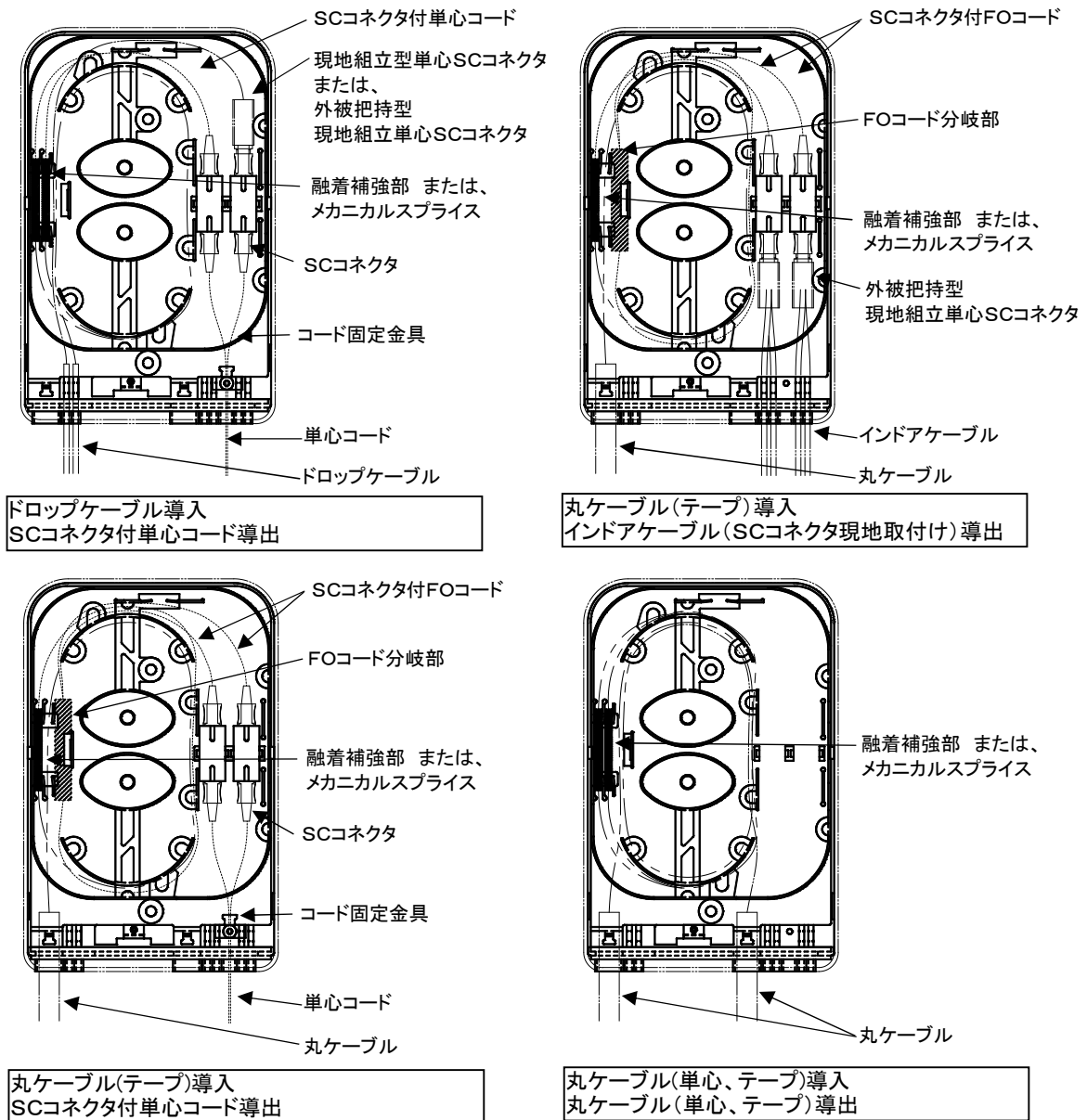
①カバーの開閉方法に従い、カバーを取り付ける。

②いたづら防止金具を取付けた場合は、ケース本体底面に添付のナベ小ネジとワッシャを差込み締付ける。



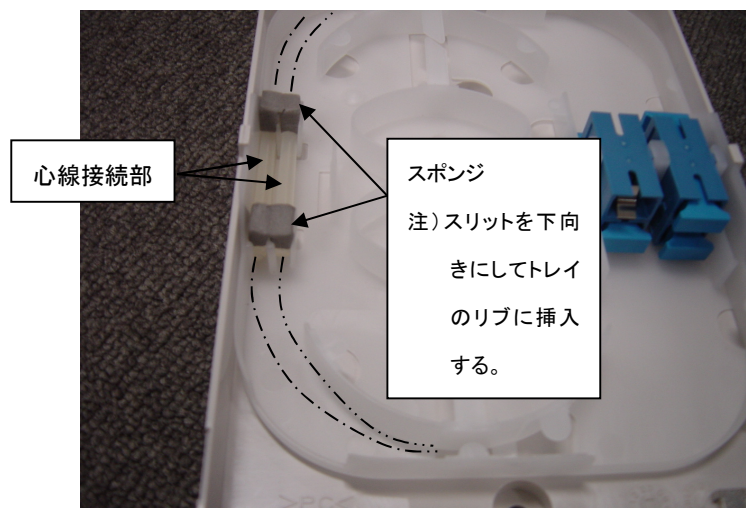
▽ 配線パターン(完成形状例)





▽ 光ファイバ心線接続部の固定

写真の通り、光ファイバ心線接続部を配線トレイに収納後、スポンジを挿入して接続部を押さえる。



以上